



現場の頑張りに応え全職員の賃上げを 中期計画達成に向け着実に業務を進捗させたのは現場です



賃上げ交渉が始まります。10月28日（火）から4週にわたって団体交渉を行います。24年度都立病院は赤字でした。赤字なのに賃上げ、ありなんでしょうか？

赤字でも賃上げ、あります。

なぜなら、都立病院は、都議会で決めた中期計画に基づいて不採算な「行政的医療や高度・専門的医療」を担うように、都民から求められているのです。

中期計画は毎年進捗状況をチェックします。24年度も「目標達成に向け着実な業務の進捗状況にある」と評価されています。

とりわけ「行政的医療や高度・専門的医療の安定的かつ継続的な提供」については、12の医療分野でS評価（年度計画を大幅に上回る）が1分野、A評価（年度計画を上回る）が5分野です、他はB（概ね順調）でした。半分の分野で中期計画を超過達成しているのです。それを反映しているのが医業収益79億増です。都民から託された計画を達成したのに、物価高騰などにより赤字になったのです。機構はこの現場の頑張りに賃上げで応えるべきです。

昨年、平均2.3%の賃上げでした。若年層は2.3%を超える賃上げでしたが、ベテラン層は非常に低い賃上げでした。25年度の消費者物価の上昇率は2%台後半になると予想されています。昨年のように若年層中心の賃上げでは、ベテラン層は実質賃下げになってしまいます。

労組の要求は、中堅・ベテラン、再任用、病院職員も含めた全職員の賃上げです。若年層中心の賃上げではなく、働き続ければ賃金が上がることが必要です。そうしないとベテラン職員は養成できませんし、安心して働き続けることができません。

労組の要求は、中堅・ベテラン、再任用、病院職員も含めた全職員の賃上げです。若年層中心の賃上げではなく、働き続ければ賃金が上がることが必要です。そうしないとベテラン職員は養成できませんし、安心して働き続けることができません。

秋の交渉に向けてスト権確立 団体交渉に参加しよう

ストライキ権が確立されました。批准率は70%で過半数を超えました。スト権確立を背景に10月28日からの交渉に臨むことになります。

交渉を成功させるポイントは、交渉を執行部に任せるのではなく、多くの組合員が交渉に参加することにつきます。なかでも、組合の将来を担う若い組合員が交渉に参加することが重要です。

交渉といっても難しく考えなくてもかまいません。「物価が上がって苦しい、給料上げてほしい」、一人で言っている分には愚痴ですが、交渉の場で機構本部に対して言えば、要求になるのです。



発行 地方独立行政法人都立病院機構労組

[@toritubyoin_ro](https://twitter.com/toritubyoin_ro) [f](https://www.facebook.com/toritubyoin_ro) 都立病院のお役立ち情報を発信しています

あなたの職場の健康度は? いますぐチェック →



LINE@
都立病院労組

職場のお悩み相談に乗ります
LINE@アプリの登録が必要です

